

洋画

美術科 洋画コース

TR テキストレポート科目 TW テキスト作品科目 TX テキスト特別科目 S スクーリング科目 GS 藝術学舎科目 WS Webスクーリング科目 必 必修科目 選必 選択必修科目 選 選択科目

※下記でご紹介する科目は2017年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

洋画コース専門教育科目

STEP①

デッサンを基本として、「見る」「描く」の基礎を身につける。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
洋画演習 I-1	鉛筆デッサン「塊を描く」/ 鉛筆デッサン「私の靴」	TW	必	各2		デッサンから絵画へ。鉛筆デッサンでは「塊を描く」、「私の靴」の制作を通し、対象を量として捉えること、丹念に観察することを学ぶ。油彩では「自画像」、静物「野菜・果物」の制作を通し油絵具での表現に慣れる。
洋画演習 I-2	人物油彩「自画像」/ 静物油彩「野菜・果物」	TW	必			
洋画 I-1	牛骨鉛筆デッサン	S	必	各1		「牛骨鉛筆デッサン」、「石膏木炭デッサン」、「静物木炭デッサン」の制作を通し、形態、明暗、量感、空間、構図など、造形に必要なことから学ぶ。あわせて鉛筆や木炭等の描画用具や対象の捉え方について学ぶ。
洋画 I-2	石膏木炭デッサン	S	必			
洋画 I-3	静物木炭デッサン	S	必			
洋画 II-1	静物油彩1	S	必	1		「静物油彩1」、「人体油彩1」の制作を通し、油絵具の色や溶き油、混色などについて学ぶ。「静物油彩1」では三原色+白での制作、「人体油彩1」ではヌードモデルのクロッキーと木炭デッサンを経て油彩で制作する。
洋画 II-2	人体油彩1	S	必	2		

STEP②

色と形から、造形表現に取り組む。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
洋画演習 II-1	ドローイング「手」/ 鉛筆デッサン「囲まれた空間を描く」	TW	必	各2		形態や色彩の構成を学ぶ。「手」のドローイング、デッサン「囲まれた空間を描く」の制作を通し、観察描写からの広がり体験する。油彩では、「鏡面に映る自画像と室内風景」、「建物のある風景」の制作を通し対象の観察から色や形を探ることを目指す。
洋画演習 II-2	人物油彩「鏡面に映る自画像と室内風景」/ 風景油彩「建物のある風景」	TW	必			
洋画 III-1	人体油彩2—塑造と油彩	S	必	2		「人体油彩2—塑造と油彩」では、人体をモチーフに立体制作に取り組んだ後、油彩で制作する。「風景を創る」では現場の風景をモチーフに、トリミングし、水彩などを用いて制作する。
洋画 III-2	風景を創る	S	必	1		
洋画 IV-1	静物油彩2	S	必	2		「静物油彩2」ではアクリル絵具や様々な素材を用いてコラージュを制作し、そこからの発見を活かした表現を探る。「コンポジション」では静物をモチーフに3種類の課題を制作し、画面構成について学ぶ。
洋画 IV-2	コンポジション	S	必	1		

STEP③

自分の表現とは何かをつきつめていく。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
洋画演習Ⅲ-1	自由制作Ⅰ「発想」	TW	必	各2		それぞれ油彩※1を2点ずつ制作する。スクーリングの洋画Ⅴとあわせて、「画面に込める想い」、「画面から感じるこゝと、伝えたいこと」を意識して学習していく。
洋画演習Ⅲ-2	自由制作Ⅱ「表現」	TW	必			
洋画Ⅴ-1	花	S	必	各2		モチーフと向き合うことで、思考と絵画表現の関係を探り、人や花をモチーフとしながらも単なる再現ではない表現を目指す。自己の制作を振り返り、自分のこだわりを展開させる。また、抽象絵画の誕生から現在までの流れ、その精神的支柱を学び、制作を行う。
洋画Ⅴ-2	人	S	必			
洋画Ⅴ-8	構想	S	選必 ※2	各2		
洋画Ⅴ-9	抽象	S				

※1 アクリル絵具も可 ※2 「洋画Ⅴ-8」または「洋画Ⅴ-9」いずれか1科目を選択必修。

STEP④

自分の想いを絵にする。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
洋画演習Ⅳ	テーマ研究「50号自由課題」 プレゼンテーション「ポートフォリオ」/ 「副論」	TX	必	4		第1課題のテーマ研究、第2課題のプレゼンテーションの計2課題を制作。秋のスクーリングから着手する100号の制作とあわせて、「作品をつくる行程」と「プレゼンテーション(提示)」とを学ぶ。
卒業制作		S	必	6		担当教員の指導のもとテーマを設定し、エスキースの制作を経て、100号の作品を制作する。これまでの学習によって習得した技法、育んできた自身の価値観や創造性を集大成して制作する。なぜこの絵を描くのかという、自己の内面や思いと社会との接点を意識し、表現の構築を行う。

コースからのスクーリング開講に関するお知らせ

1～4年次まで全ての科目を東京でも開講しますので、卒業要件に必要な単位を東京で開講するスクーリングだけで修得することも可能です。また、全年次で6日間連続のスクーリングもあります。